



五城目朝市

議会60年史発刊を祝して

われらが郷土は、昭和30年、いわゆる「昭和の大合併」の際に5か町村が合併し、新生五城目町として発足以来、60周年という大きな節目の年を迎えました。

このたび、この60周年を記念し、五城目町議会の輝かしい足跡を改めて振り返られるとともに、それらを記録し後世に残すべく、「五城目町議会60年史」を発刊されますことは、今後の町政運営に大きく寄与するものと存じ、編集作業等のご労苦に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

思い起こせば、自治体再編の波が再び押し寄せていた「平成の大合併」の最中、町政のかじ取りを引き継いでから、早10年が経ちました。

単独立町の道を歩むべく、まず求められたのは町自立計画の策定であり、行財政全体のスリム化でありました。各種事業の見直しや職員数の削減は、中長期的な視点で着実に実施できておりますし、観光・福祉施設をはじめとした町有施設も、指定管理制度への移行や経営の移管、施設の譲与などにより、良好な状況を保ちながら整理が進んでおります。中でも、地区公民館の指定管理や小学校の統廃合などは、地域の皆様のご理解ご協力がなければ成し得ないことであり、町民そして各地域の代表たる、町議会議員の皆様によるご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

各種課題の解決は、五城目第一中学校新校舎建設や新消防庁舎建設など、町民の皆様が切望されていた大型事業の遂行にも着実に結びついております。

また、就任当初より掲げて参りました、町民の皆様とともに汗する「協働のまちづくり」につきましましては、豪雪や豪雨、震災などの難局を乗り越える大きな力となっております。現在実施しております集会所改修助成や地域コミュニティ助成などと併せた地域力の向上こそが、新たな「五城目町総合発展計画」に基づく、さまざまな魅力を活かしたまちづくりに結びついていくものと存じます。

平成19年の秋田わか杉国体開催の折には、町の歴史始まって以来初めてとなります、天皇・皇后両陛下ご来町の栄を賜り、町民の皆様とともにお迎えできましたことは、この上ない喜びとするところであります。

五城目町60周年という時の流れ、そして同じ時を歩んで来た議会での議論、各種の活動を顧みていただければ、そこに町発展の輝かしい歩みを認識いただけると確信いたしております。

ここに重ねて、町発展に尽くされてきた町議会議員各位に深く感謝申し上げますとともに、これまでの業績を基礎に、さらなる進展に向け今後も活発なる活動を展開されますようご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



五城目町長

渡邊彦兵衛

